アンケート結果から

良かった点

評価の高かった画像番号④、①、②

・全体に無駄なく画像が配置されている

・背景が白で見やすい

・背景が明るく見やすい

・画像の下にタイトルが書かれている

・時期ごとに分けられていて、読み手の欲しい情報をすぐに探せる

悪かった点

評価の低かった画像番号③、①、④

・背景が明るすぎたため、文字が読みづらい

・文字、写真が小さく見やすいとは感じなかった

・写真が多すぎる

・隙間が多く、無駄なスペースが多い

この結果からサイトの変更点（改良点）として

１、文字を大きくする

　→全体的に文字が小さいという指摘があったため

　　重要な文章などは下線や色の変更などを使う

２、背景を白または白に近い薄い青系の色を利用する

　→背景の色が濃すぎると文字を読みづらいという指摘があったため。

３、無駄なスペースを無くす。

　→行間が空きすぎている、両サイドのスペースが多いという指摘があったため。

４、映画作品以外の主張を限りなく削除する

５、映画に登場するキャラクターや役職などの紹介画面の作成

など

なぜ、既存のサイトと変更したかの意図を明確にする

２枚目に続く

論文の調査から

コントラスト（背景と文字の明るさの差）が強いほうが「見やすい」「澄んだ」などの心的快適を示した。しかし、背景コントラストが強すぎると「文字の見やすさ」は上がるが、「不快感」が増加する

　→極端なコントラストを避けて作成する

文字をゴシック体にすると文字の太さが均一になるため読みやすくなるが、文字が角ばったものになるため、文字をふとくすると目につきやすいが読みやすさはかなりおちる。

どのフォントでも文字を細字にすると読みやすくなるが、軽い印象になり高級感などがさがる。逆に太字にすると目立つことはできるが、読みやすさが減少する

　→ひらがなやカタカナではゴシック体を利用するほうが良いが、これに関しては好みで良い

階層構造が深いサイトだとクリックするまでにマウスを動かす距離を短くすることが求められる→１ページが密度の濃いものにする

操作距離や操作時間間隔が大きい場合は画面のレイアウトが不適切な可能性がある

　→１ページが密度の濃いものにする